

< 第 10 節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	筑波大学	7	1	2	28	10	+18	23
2	駒澤大学	6	2	2	22	7	+15	20
3	法政大学	5	0	5	19	10	+9	20
4	順天堂大学	4	3	3	16	13	+3	15
5	国士館大学	4	3	3	13	13	±0	15
6	東京農業大学	3	3	4	9	18	-9	13
7	東京学芸大学	4	6	0	14	17	-3	12
8	明治大学	3	5	2	12	14	-2	11
9	中央大学	3	5	2	16	19	-5	11
10	流通経済大学	2	4	4	9	19	-10	10
11	亜細亜大学	2	5	3	9	14	-5	9
12	日本大学	1	7	2	9	22	-13	5

国士館大学はリーグ戦後に勝ち点 - 7 とする

得点ランキング

9 ゴール	平山相太(筑波大)
	市川雅彦(法大)
6 ゴール	赤嶺真吾(駒大)
5 ゴール	原一樹(駒大)
4 ゴール	藤本淳吾(筑波大)
	宮崎大志郎(駒大)
	他 5 名

アシストランキング

9 アシスト	藤本淳吾(筑波大)
4 アシスト	高野耕平(東学大)
	石川高大(東農大)
3 アシスト	赤嶺真吾(駒大)
	小宮山尊信(順大)
	宮崎智彦(流経大)
	他 2 名



[右上]試合後、結果に悔しさを隠しきれなかったイレブン。内容では筑波大を圧倒していた

[右]6本ものシュートを放った赤嶺。しかし、GK来栖が壁のごとく立ちはだかりゴールを奪うことはできなかった

[下]サイドから多くのチャンスを作った鈴木亮。運動量も増え、完全復活も近い

ボランチとして出場し、身体を張って相手の攻撃の芽を摘んだ八角。攻撃でも正確なキックでリズムを与えた



5月28日 14:40	西が丘サッカー場
駒大 0 (0-0) 0 筑波大	(1位・23)
(2位・20)	

得点者(アシスト)	
なし	
KOMAZAWA	TSUKUBA
GK 牧野利昭(4)	GK 来栖由基(4)
DF 塚本泰史(2)	DF 秋葉陽一(4)
DF 桑原 靖(4)	DF 阿部翔平(4)
DF 廣井友信(3)	DF 今野 傑(2)
DF 筑城和人(3)	DF ³¹ 野本泰宗(1)
MF 八角剛史(2)	MF 岡田 隆(3)
MF 鈴木亮平(4)	MF 藤本淳吾(4)
MF ²⁶ 田谷浩浩(2)	MF 竹下大亮(3)
(63分 原一樹(3))	MF ³⁴ 永芳卓磨(1)
MF 宮崎大志郎(4)	(89分 中野洋司(4))
FW 巻 佑樹(3)	FW ²² 田中雅也(2)
(85分 27 高崎寛之(2))	(56分 三澤純一(2))
FW 赤嶺真吾(4)	FW ³³ 出口 司(1)
S U B	S U B
GK ²² 山内達夫(2)	GK ³⁰ 工藤尚人(4)
DF ³¹ 安藤 謙(1)	DF 麻生耕平(2)
DF ²⁸ 阿部琢久哉(3)	DF ²⁸ 長瀬慎吾(2)
MF 最上大輝(4)	MF 内藤清志(3)
MF 赤尾直和(4)	FW ³² 木島 悠(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	吉岡 宏

警告(C)/退場(S)
 【駒】64分：八角剛史 (C)
 【筑】32分：野本泰宗 (C)
 [シュート]20:4[GK]18:11[CK]10:2[Pk]0:0[直接 FK]25:20[間接 FK]12:12[OS]2:12[主審]吾藤敬一[観衆]約700人
 上記データは全て左側の数字が駒澤

Jr.リーグ、前期を全勝・無敗で制覇!



5試合出場、5得点と安定したパフォーマンスで MVP を受賞した高崎。次はトップチーム定着を狙う

高崎寛之コメント
 「自分が出てない試合もあったけど、全勝で優勝したからこういう賞をもらえたので、自分の力ではなく、チームで優勝した結果だと思います」

三栗寛士コメント
 「全試合に出ている訳ではないので選ばれたとは思っていません。自分のプレーが認められたという事だと思います」

- 前期 Jr.リーグ 最終順位
- 1位：駒澤大学
 - 2位：早稲田大学
 - 3位：朝鮮大学
 - 4位：青山学院大学
 - 5位：慶応義塾大学
 - 6位：専修大学
 - 7位：成蹊大学
 - 8位：帝京大学

- 各賞受賞者
- 【最優秀選手賞】高崎寛之【駒大】
 - 【ベストGK賞】三栗寛士【駒大】
 - 【ベストDF賞】浅川 智【早大】
 - 【アシスト王】首藤 豪【早大】
 - 【得点王】首藤 豪【早大】



リーグを通して確実なプレーをした柳崎、彼の活躍も MVP 級だった

- Jr.リーグ第7節・対朝鮮大
- 駒大 1 - 0 朝鮮大 【得点者】()はアシスト
 (1 - 0) 20分：加藤【駒】
 (0 0)
- 【メンバー】
 GK 三栗寛士
 DF 葛山公基、奥野拓也、湯川貴嗣 (45分平岩 宗) 新開健人
 MF 柳崎祥兵、榊原浩一郎 (66分隅田 翔)、田村貴之 (56分山崎良介) 椿原徹也
 FW 加藤正樹、宮田 潤 (75分寛張真也)
 内の数字は学年

前期 Jr.リーグは、駒大の全勝・無敗という結果で幕を閉じた。しかし、駒大のチーム全体の選手層を考えると、全勝で制したことも不思議ではなかった。

FWでは現在、トップチームに定着している田谷浩浩は昨年の Jr.リーグから安定したプレーを続け、今では欠かせないプレイヤーまで成長を遂げた。先日の筑波大戦で初の公式戦出場を果たした高崎寛之も、「1試合・1得点」と目標を掲げゴールを決め続け、MVP にまで選ばれている。その他にも今季から加入した山下真太郎や島田祐輝も随所でよいプレーを見せ、虎視眈々と昇格を狙っている。

中盤や守備陣にもタレントが揃っている。6試合に出場した柳崎祥兵はボランチでありながら、フリーキックを武器に4ゴールを記録している。DFでは湯川貴嗣、志田亮輔などが奮闘し、リーグを通して5失点と優勝に貢献している。

ここで活躍している選手たちは、全勝で優勝したことで自信をつけている。彼らはより高いレベルのサッカーを求めている。そのハングリー精神が彼らを支えていこう。次に昇格を決めるのは誰だろうか。今後はこの争いからは目が離せないだろう。